


2021年12月期第2四半期

決算説明資料

2021年8月25日

 **木徳神糧株式会社**

証券コード：2700



2021年12月期第2四半期 連結業績の概況

決算ハイライト (P/L)

増収・増益

単位：百万円

	前第2四半期 (2020年1月～6月)	当第2四半期 (2021年1月～6月)	増減額	前年同期比
売上高	54,045	54,442	397	100.7%
売上総利益	2,748	3,020	272	109.9%
売上比	5.1%	5.5%		
販売費および 一般管理費	2,634	2,650	16	100.6%
売上比	4.9%	4.9%		
営業利益	114	370	256	324.6%
売上比	0.2%	0.7%		

決算ハイライト (P / L)

単位：百万円

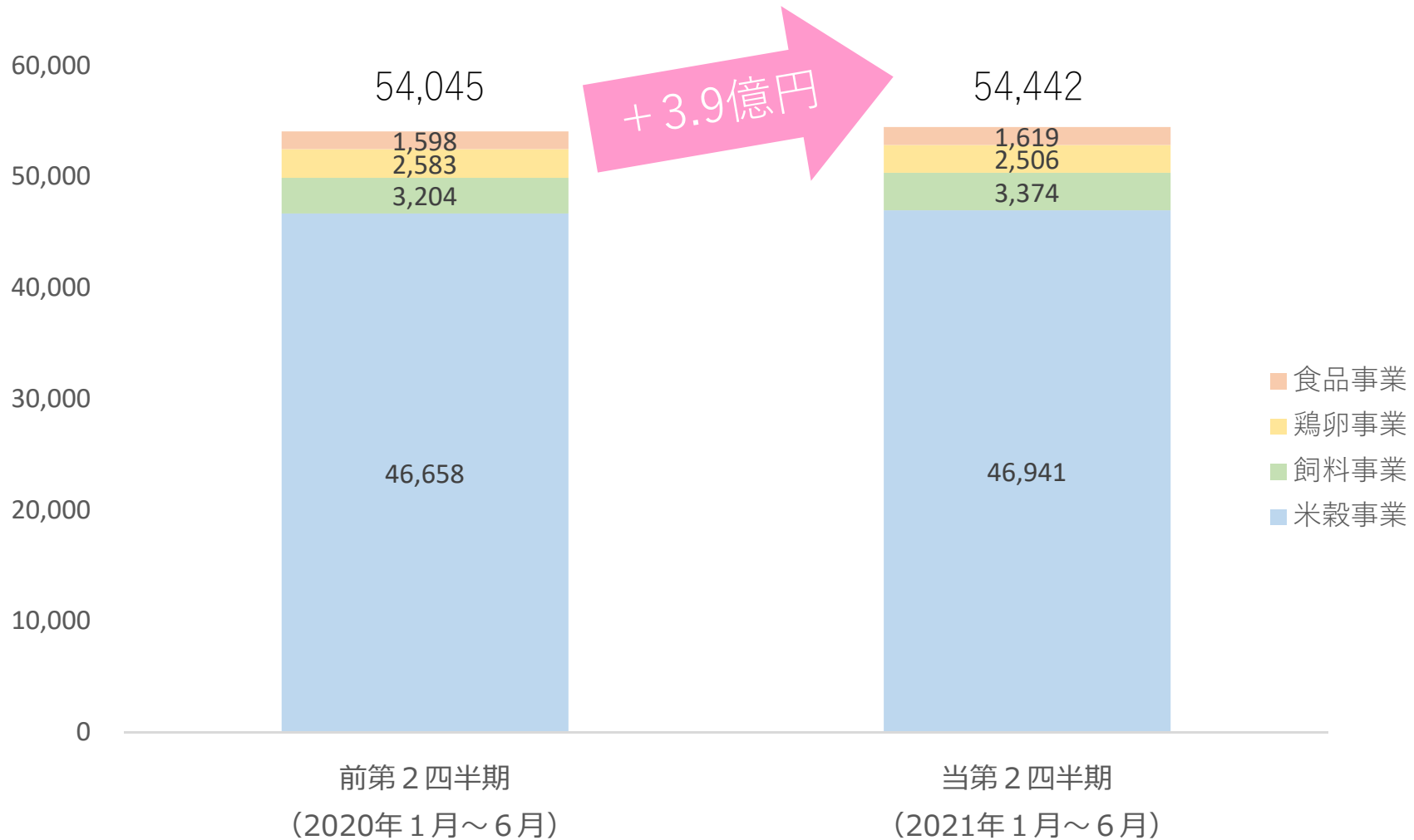
	前第2四半期 (2020年1月～6月)	当第2四半期 (2021年1月～6月)	増減額	前年同期比
経常利益	170	428	258	251.8%
売上比	0.3%	0.8%		
特別損益	83	△0	△83	—
台湾木徳資産売却益	83	—		
投資有価証券売却益	—	—		
親会社株主に帰属 する当期純利益	173	361	188	208.7%
売上比	0.3%	0.7%		



売上高（セグメント別）

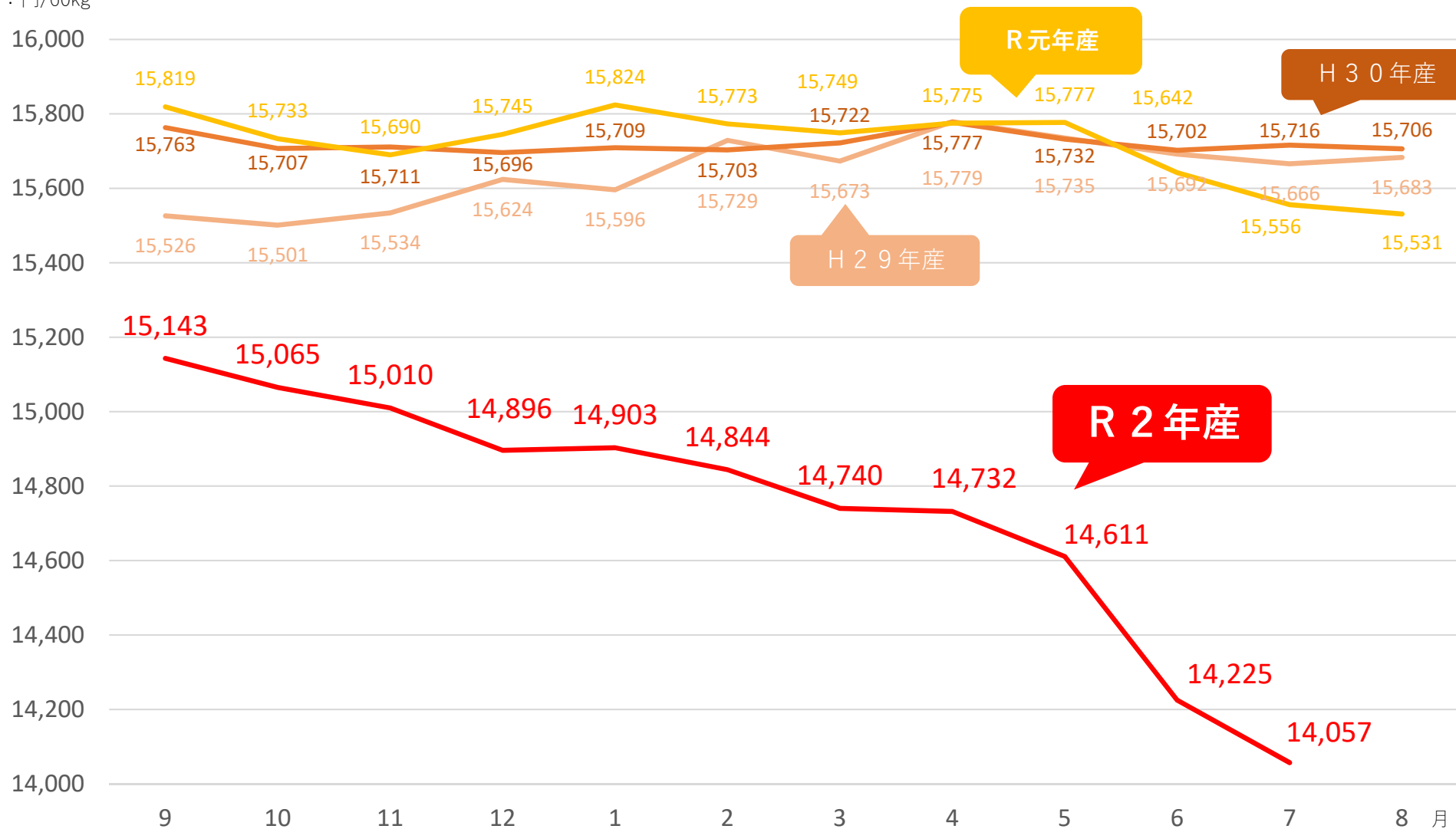
単位：百万円

米穀事業 MA 米取扱数量増加



コメの相対取引価格の推移

単位：円/60kg

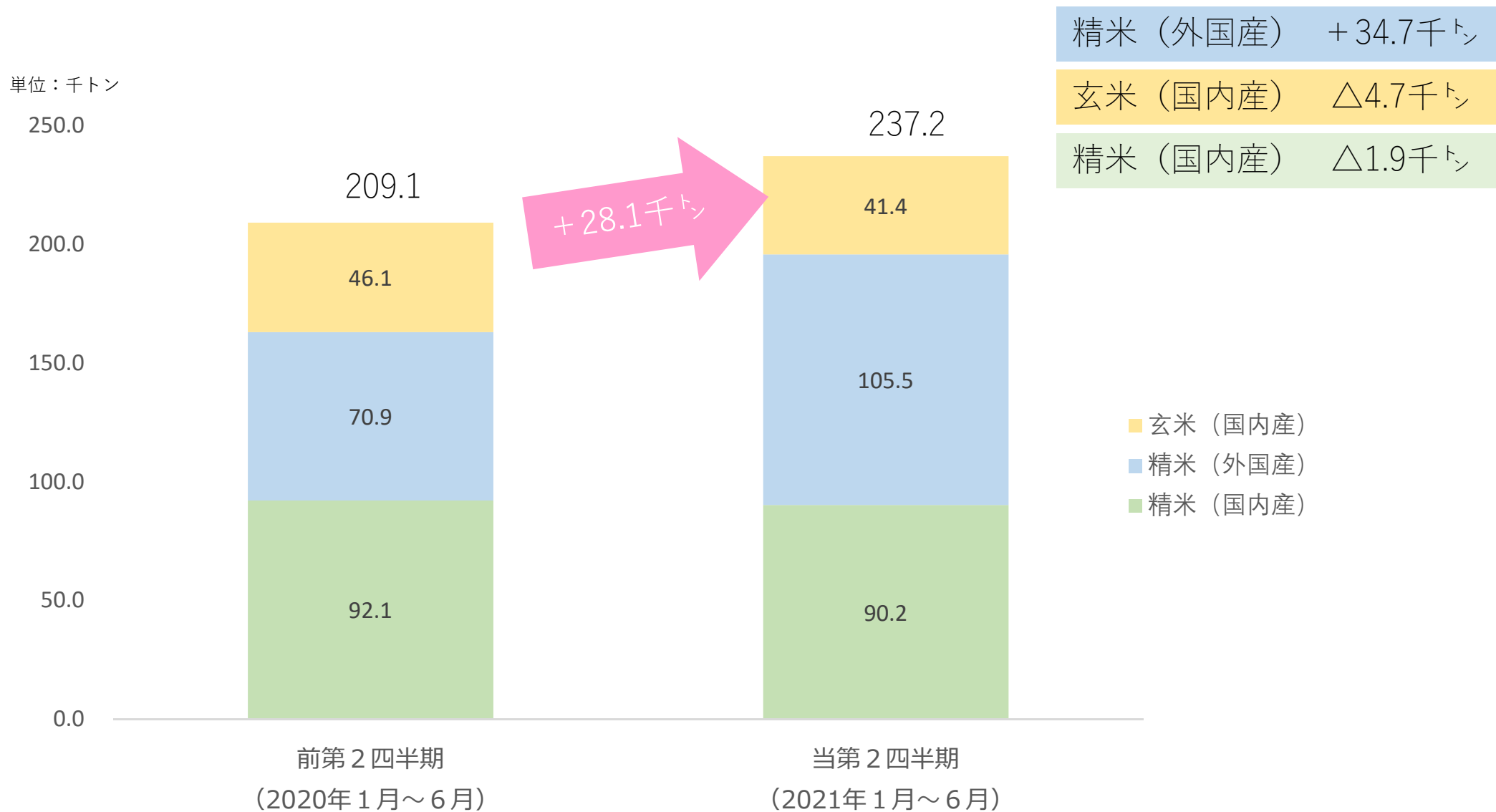


注：1. 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2. 相対取引価格は全銘柄平均価格であり、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウエイトで加重平均した価格である。



販売数量（米穀事業）

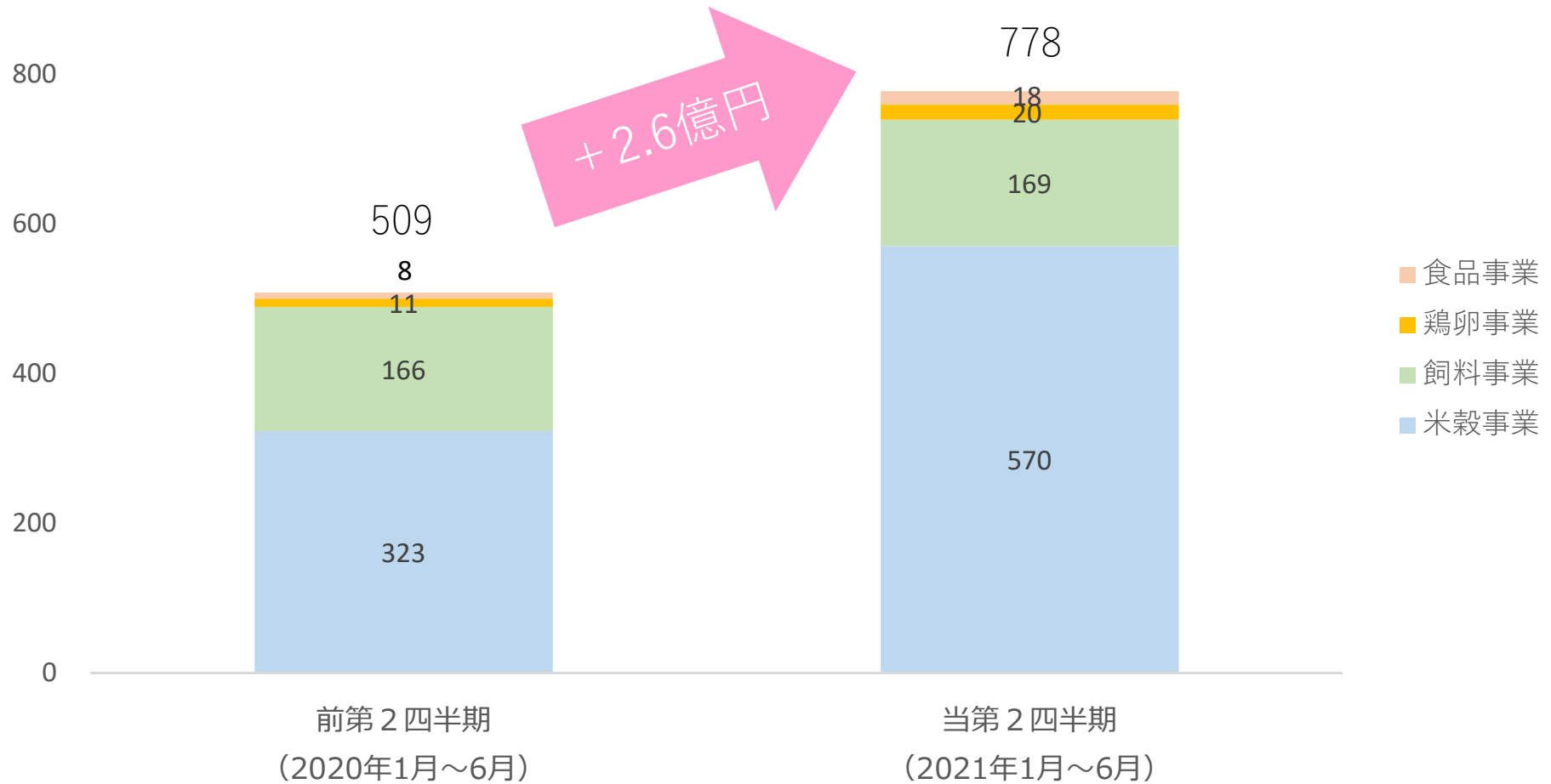




営業利益（セグメント別）

単位：百万円
1,000

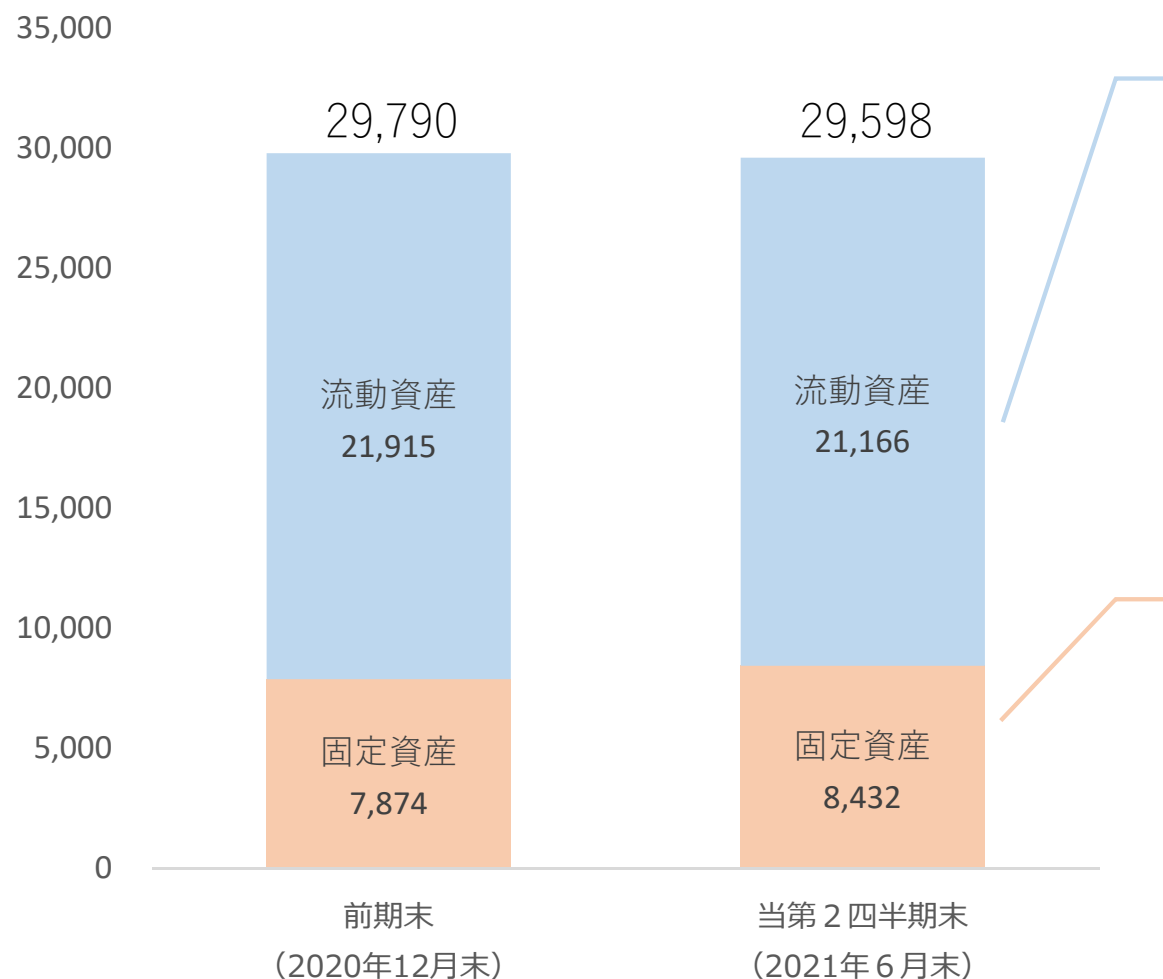
米穀事業
・ 国産米取引の採算改善
・ コストの削減に注力



資産、負債及び純資産の状況（1）

【資産の部】

単位：百万円



流動資産	△749
前渡金 (※)	△1,054
売掛金等	△657
現金・預金	+714
棚卸資産	+213

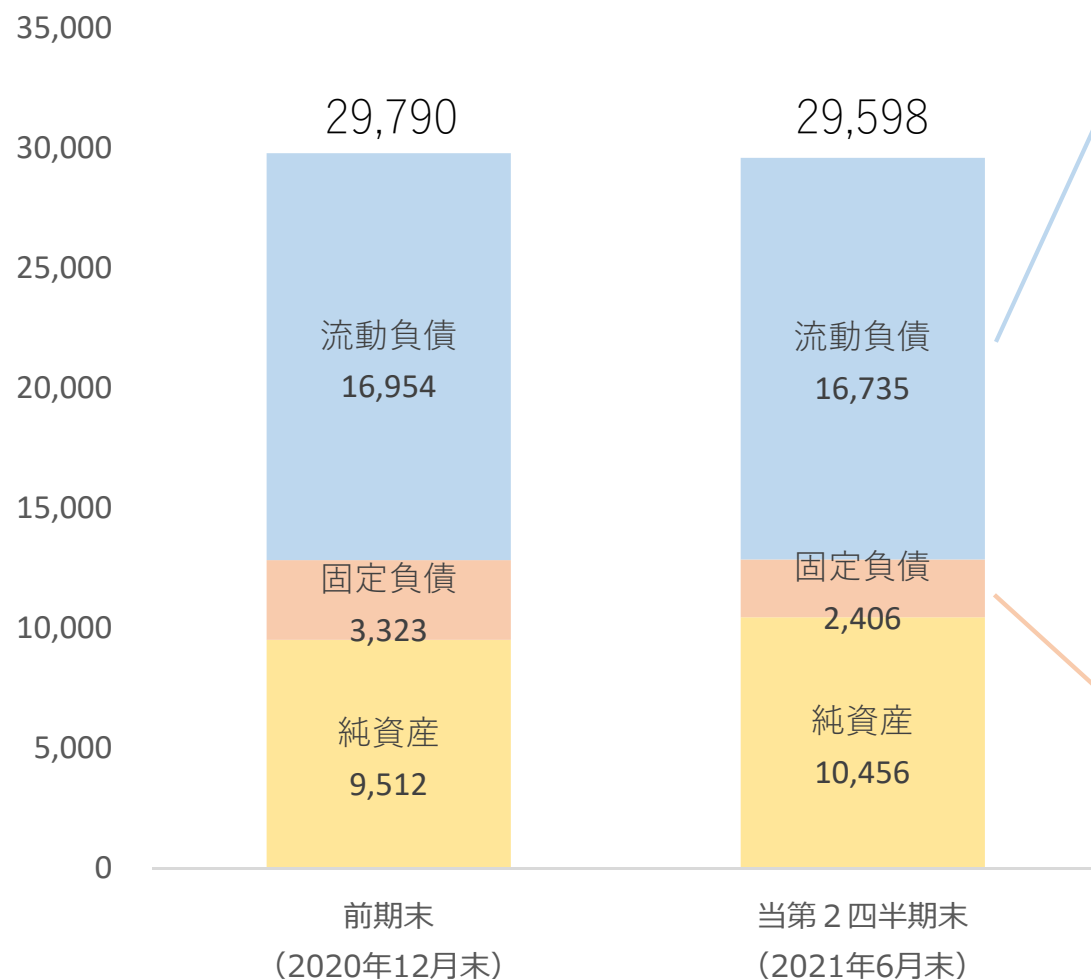
(※) 要因は主にミニマム・アクセス米に係る取引によるもの

固定資産	+558
投資その他の資産	+688
有形固定資産	△127

資産、負債及び純資産の状況（2）

単位：百万円

【負債・純資産の部】



流動負債	△219
短期借入金等 (※1)	△1,323
未払金	△325
前受金 (※2)	+ 1,252

(※1) 1年以内返済予定の長期借入金を含む

(※2) 要因はミニマム・アクセス米に係る取引によるもの

固定負債	△917
長期借入金	△1,106
繰延税金負債	+ 199



決算ハイライト (B / S)

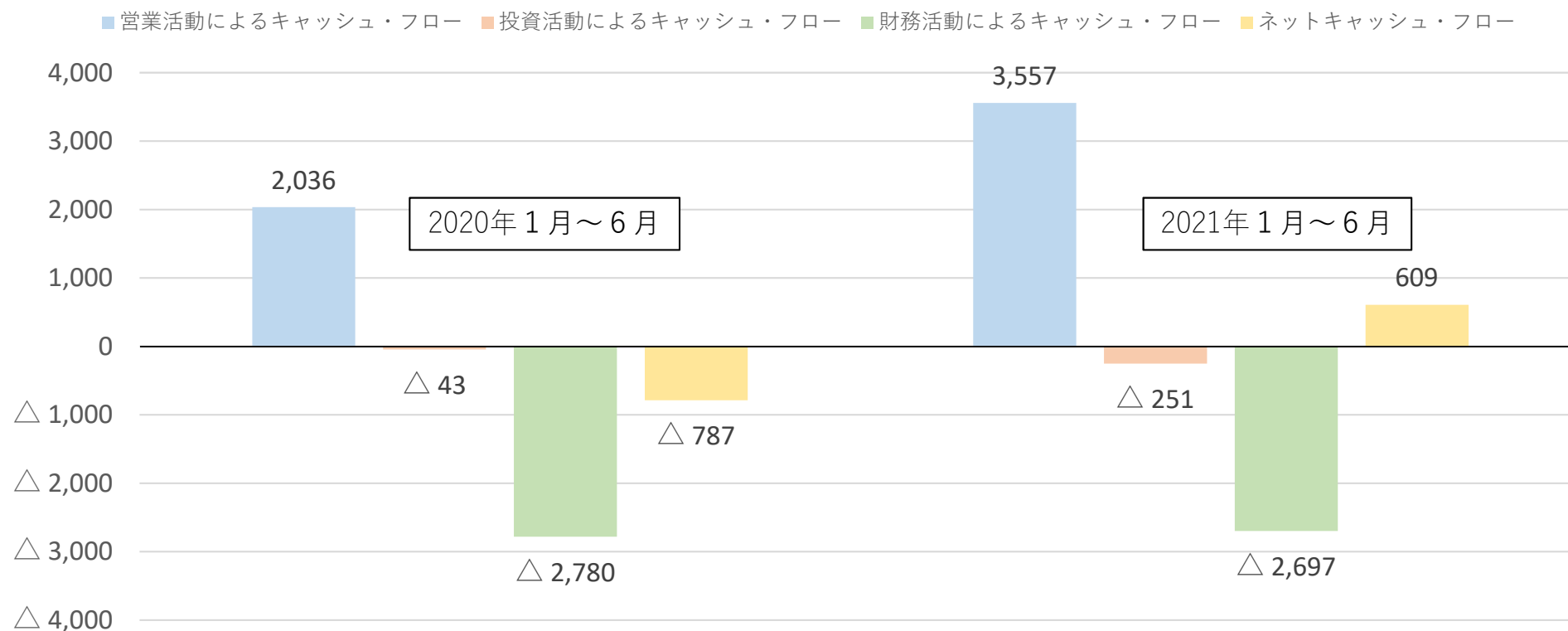
	前期末 (2020年12月末)	当第2四半期末 (2021年6月末)	増減額
総資産 (百万円)	29,790	29,598	△192
純資産 (百万円)	9,512	10,456	+ 944
自己資本比率	31.5%	34.6%	+ 3.1
1株当たり純資産 (円)	5,792.16	6,317.99	+525.8


(参考) 自己資本：2020年12月末 9,385百万円、2021年6月末 10,238百万円。

決算ハイライト (C/F)

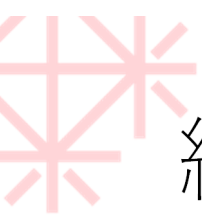
単位：百万円

	前第2四半期 (2020年1月～6月)	当第2四半期 (2021年1月～6月)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,036	3,557	+1,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△251	△208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,780	△2,697	+83





經營戰略



経営理念

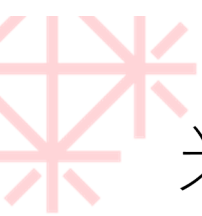
コメビジネスを軸に世界中の消費者に
コメとコメ関連食品の素晴らしさを発信し、
健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートします。

米穀事業(国内)の構造改革

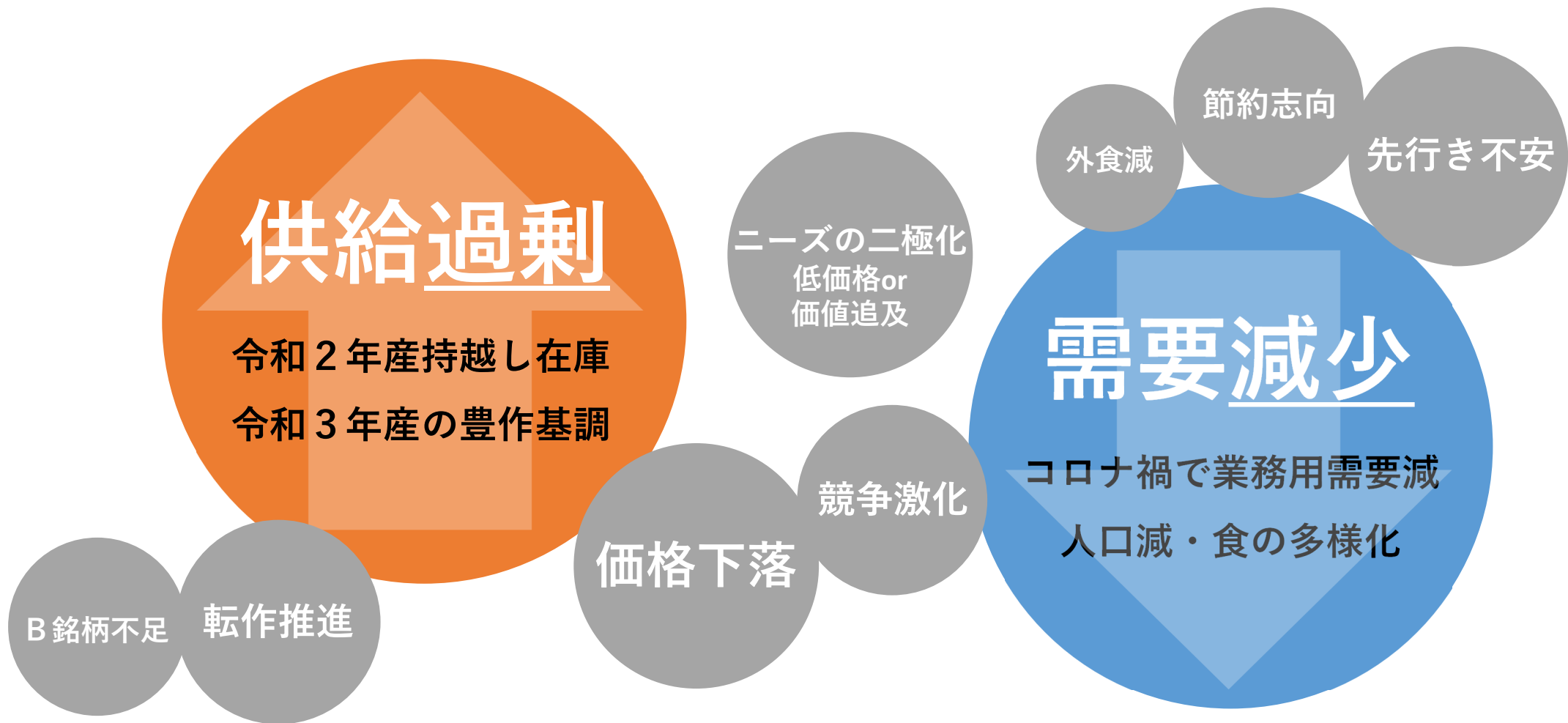
- ・仕入構造改革の推進
- ・コストの削減による競争力強化
- ・提案営業実践の強化

新規事業・新商品開発の本格化

- ・海外市場におけるチャレンジ
- ・連携強化による開発の充実



米穀事業の需給環境



低価格商品・高品質商品・ユーザーニーズに対応した商品の提案と徹底したコストダウンによる競争力の強化が必要

“新しい生活様式”に対する取り組み

●巣ごもり消費や防災意識をターゲット

- 家庭内調理「内食」の充実やテイクアウト需要への対応
- タイ香り米オンラインショップ、複数のSNSと連携した販促実施



キッチンカーでは売上の一部をタイの環境保護団体へ寄付するキャンペーンも実施

ライト～ミディアムユーザー向け
タイ香り米パックご飯と
新発売した1kg容量商品

- 備蓄ニーズへの対応、ローリングストックの推進
家庭内備蓄用途をコンセプトにした「ストックライス」や「長鮮度米®」の提案
- オンラインショップ「**KOMETTS**」を活用した拡販

コメッツ

経営戦略（米穀事業（国内））の構造改革①

●仕入構造改革の推進

■業務用向け需給ミスマッチ解消への対応強化

- エリア毎に地産地消に適した多収穫米品種の拡大
- 生産者と実需を結ぶ長期的取り組みとして、にじのきらめき・つきあかり等、多収・良食味品種の普及促進
(2020年 6,000ト→2021年計画 8,000ト)

■家庭用向け商品の産地精米によるコストダウン

- 産地工場との資本提携を進め、自社工場と同水準の品質確保
- 営業と製造との協力でアイテムを集約し効率化

■東日本農産への出資による調達強化

- ・ 業務用へ国産米を使用推進、加工用原料米の販売強化



製造委託工場を拡大

経営戦略（米穀事業（国内））の構造改革②

●コストの削減による競争力強化

■自社精米工場の改革

- 全工場を対象に機能の選択と集中を図る
- 最新鋭の機器による省力化と自動化を推進
- 省エネによる環境配慮型工場化への取り組み

■産地精米活用による効率化

- 配送効率やコスト等を比較し最適な製造先を選択

生産効率の向上



アイテムの集約による製造コスト削減
精米での輸送による物流コスト削減

経営戦略（米穀事業（国内））の構造改革③

●提案営業実践の強化

■新規取引先開拓の強化

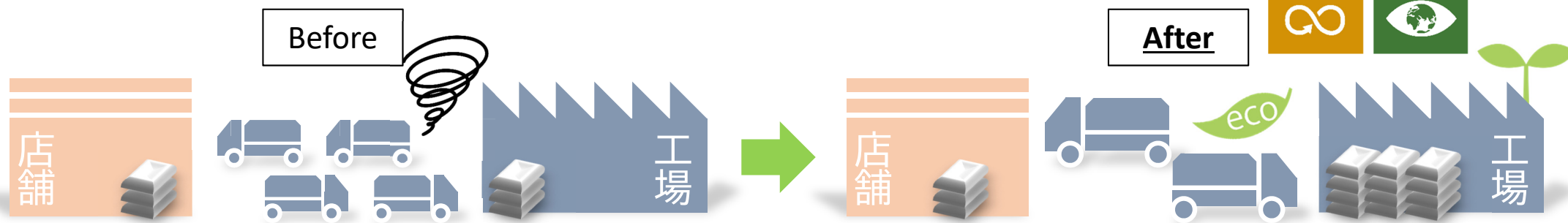
- 家庭用・業務用それぞれのニーズに対応した商品提案

■環境対応（SDGs）の取り組み推進

- プラスチック使用量を削減したエコ米袋のシリーズ化検討
- 計画精米によるロスや日切れ米の抑制、エネルギーの削減
 - 賞味期限の長い「長鮮度米®」の拡販
 - 精米年月日から精米時期（旬）の表示に変更



総重量の半分以上が紙でできた減プラ米袋



「精米日から2日以内」等の条件があり、出荷できる日数が短いため作り置きしにくく、配送頻度が高い

上旬・中旬・下旬の「精米時期」の表示になったことで、販売計画に基づく製造・在庫と効率的な配送が可能

経営戦略（新規事業・新商品開発の本格化①）

●海外市場における取組み

■ 中国市場における販売の強化

- 木徳（大連）貿易有限公司の連結子会社化
- コロナ禍から比較的早く経済活動回復、現地営業によるシェア拡大



中国で販売する木徳神糧NB商品

■ ベトナムでの生産・集荷体制強化

- ジャポニカ米の品質の向上と第三国輸出回復
- 日本の製造技術による更なる品質向上と国際規格への対応
- ベトナム国内における営業拠点の拡充と販売の強化

■ 新規事業案件の発掘

- 現地法人を軸としてアジア圏を中心に新規ビジネス案件開拓

経営戦略（新規事業・新商品開発の本格化②）

●連携強化による開発の充実

■産学連携や異業種提携の推進

- ▶東京農業大学と米たんぱく質の非アルコール性脂肪肝の発症予防効果に関する共同研究を推進中

■米の植物性たんぱく質を利用した栄養ドリンクの開発検討中

■米粉や副産物（糠など）を使ってニーズに応える商品を開発



本社テストキッチンの活用



副産物を活用した新商品の開発



米たんぱく質栄養ドリンク（仮）

経営戦略（新規事業・新商品開発の本格化③）

●オンラインショップ「KOMETS」の取り組み

- 産地との関係を活用し魅力ある商品ラインナップを拡充
- 販促キャンペーン等の実施
- コンテンツの充実とサイトの利便性向上



農水省・販路多様化対策事業へ参画



付加価値セット商品の販売



予約限定販売
7月31日まで



通常の米穀以外の商品を積極的に拡充

経営戦略（飼料事業・鶏卵事業）

●飼料事業

- 国内仕入先・販売先の広域化とシェアの拡大
- 海外仕入先の選別と関係の強化
- 国内物流網の広域化と効率化

●鶏卵事業

- 食品加工メーカーと協力し高付加価値商品の開発と拡販



大手量販店等で販売するブランド卵と親鳥を原料に使用した商品（厚焼き玉子、親鶏肉団子、プリン）



注意事項

本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2021年8月25日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

T EL : 03-3233-5125 Email:ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>